

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：31007

学校名：宮の森中学校

改訂のポイント

○「学習などについてのアンケート」の集計と「札幌市全体の共通指標に基づく調査結果」から、本校の令和元年度「学ぶ力」育成プログラムをベースに工夫改善していく。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆「自ら学ぶ方法」と「人と学びあう方法」を身に付けるため、ユニット学習を基盤にした様々な学び合いを行い、その中で思考力・判断力・表現力を高めるため、主体的に課題に取り組み、考えることの楽しさや喜びを実感できる生徒 ☆未来の社会参画への意欲につながる体験的な活動を通して、学年・学級づくりを推進し、集団の一員としての自覚を高めていく生徒		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 ○課題設定の明確化 ○スモールステップの設定 ○自己評価力の育成 ○細かな評価活動	【成果】 ⇒自ら課題をもち、学習に対して前向きに取り組もうとする子どもが、学年が上がるにつれて多くなった。	【課題】 ◇自ら学習課題の解決を計画的に行うことにより、成果を実感したり、思考力や価値観等を広げたりすることが課題である。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○交流し合える学習環境としての学級づくり ○オープンエンドの課題 ○課題探究的な学習を推進	【成果】 ⇒交流を通して、互いの考えを伝え合い、知識等をもとに繰り返し学習する中で思考・判断し、学びを深めていこうとしていた。	【課題】 ◇自分の考えや疑問を他者に対して発信し、交流を通して学びを深めていこうとすることが課題である。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○T Tや習熟度別指導を活用した指導 ○個に応じた指導の充実 ○自分への自信をもたせるきめ細かい指導	【成果】 ⇒基礎・基本的な学習内容を確実に習得しようとする意欲のある生徒が多く見られる。	【課題】 ◇自ら進んで学習計画を立て、継続的な学習を行うことが課題である。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 ○「ユニット学習」についての再確認を行い、学校体制で継続していくことで、それを基盤とした様々な学び合いを行う。		
	具体的な改善策（取組）	○意見や感想、思いを安心して発表し、交流し合える学習環境としての学級づくりを行う。 ○学習課題を追究する思考力・判断力・表現力を高め、工夫しながら課題探究的な学習に取り組む力を付けさせる。 ○T Tや習熟度別指導などの、個に応じた指導の工夫と改善を進める。 ○スモールステップの設定と、子どもたちが自ら評価する力を身に付けさせ、学ぶことへの意欲の向上・継続につながるきめ細かい評価活動を推進する。		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科等の評価規準に基づく評価結果の活用や、教育相談などによる各教科の取組に対する個別な指導。 ○全国学力・学習状況調査や学校評価アンケートの活用。 ○札幌市全体の共通指標(子どもの自己評価)の活用。		